とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和8年3月10日
クラス名（年齢）	ひよこ（　0　歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

・落ち葉の感触を楽しむ

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・椿の木の下に行って、椿の花が落ちているのを見つけ、手に持ってみたり眺めてみたりする

2、活動スケジュール

・椿の木の下に行き、落ちている椿の花の見つける
・保育士が拾った椿の花を持ったり、木にまだ同じ花が咲いている様子も見たりして、不思議に感じる

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

・椿の木の下に、花が落ちていることを把握しておく

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・椿の木の下に行き、落ちている花を見つける
・拾ったり手渡されたりして、まだみずみずしい椿の花の重みや、ひんやりとした感触を感じる

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・園庭を散策しながら、椿の木の下に椿の花がいくつも落ちているのを見つけた。保育士が拾って、子どもたちに見せたり、手に持たせてみたりした ・まだ寒いこの時期は、外に咲いていた椿の花はひんやりしていて、しかも意外にも重みがあって、持ってみて驚いた表情をしたり、手放す子もいた ・子どもの目線からは高くて見えづらいのだが、椿の木にもまだたくさん花が咲いている様子を知らせると、一生懸命に見上げていた。見上げてみて、さっき手放した花と同じだと分かったのか、もう一度拾う子もいた ・最後に、持っていた椿の花を石の上に並べて、「バイバイ」と手を振って椿の花と別れた	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・寒い冬、花や落ち葉が無くなって久しく経った頃、椿の花が咲き始めた。花びらでなく、突然花ごと落ちる椿なので、落ちている様子を見て、すぐに花だということが分かり、興味津々で眺めていた。持たせてみるといろいろな感触があり、少しおっかなびっくりの表情の子どもたちだった。しかし保育士が「きれいね」「においがしないね」など言葉をかけていくうちに、両手に持つなどして楽しむことができた